

第83回番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和2年7月28日(火) 午前10時～11時30分
2. 開催場所 COM倶楽部会議室 (箕面市船場東2-5-47 COM3号館5階)
3. 委員の出席 委員総数 6名
- 出席委員 5名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、神垣美代香、中川弘佳、
智内威雄
- 欠席委員の氏名 桑田政美
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (代表取締役社長)
大平麻由美 (取締役放送局長)
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 植田洋子と Tea For Two
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

開局当初からパーソナリティをつとめる植田洋子がお送りする番組（2007年4月スタート）。毎回さまざまな分野でご活躍のゲストをお迎えして、楽しいトークと素敵な音楽をお届けすることをコンセプトに、お茶を飲みながらゆったりとお話を伺う60分。各界の著名人から、市民の川柳の会のかたまで、幅広くお迎えしています。開局当初から、毎回ゲストをお迎えする番組を担当してきたネットワークと、話を引き出す力を生かして、情報番組とはひとあじ違ったトーク番組を作ろうと、冠番組をスタート。月2回という、ゆるやかなペースで、丁寧にゲストを選び、打ち合わせを重ねて本番に向かうことで、聞きごたえのある内容をめざしています。

今回は、コロナ禍のイタリア・クレモナの病院の屋上でバイオリンを演奏し、世界中の人々に感動を与えた箕面出身のバイオリニスト横山令奈さんと妹 亜美さんに、Zoom出演していただきました。番組には多くの反響が寄せられました。

(2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員A：番組は、オンラインで、地域や海外で活動するかたをご紹介できる機会になっていて、ましてコロナ禍の癒やしのニュースを話題にして、たいへん良かったです。聞き手がとても耳心地がよく、リラックスしてインタビューに答えていたと感じました。リモートは、会議などでは中々全てをカバーすることは難しいですが、この番組はラジオで伝えるということと、オンラインの良さがマッチしていて、聞いていて違和感もなく、普段のスタジオでの出演のようでした。しかも、上手に日頃の想いや、箕面出身であるという部分もアピールされていて、親近感が湧きました。箕面ゆかりの音楽アーティストのかたを色々紹介できたら凄くいいだろうと感じました。

委員B：聞き手の声はとても耳触りがよく、落ち着いて質問していて、聞きごたえがありました。ただ、所々聞こえない箇所もありました。パワーがあるかたがラジオを通して、Zoom を経由したとしてもパワーをもらえるお話を聞くことができ、純粋に良かったと思います。また、イタリアのコロナのようすが伺えたのも良かった。聞き手は、何も知らない私が聞いてほしいことや、理解できるように質問を進めていて、あっという間に感じました。

委員C：聞き手の声も良く、持っていきかたがとても上手く、番組自体の完成度も非常に高く、充実していました。Zoom で繋いでいることを完全に忘れてしまうような完成度でした。特に冒頭の雰囲気作りがうまくて、昭和の日にあわせて、その話題から入り、「コロナ渦でも箕面の新緑は裏切らない」というコメントが、箕面に住んでいる者としては非常にうれしい感覚になりました。全体的には、パーソナリティ自身もゲストと親しくされているということもあり、横山ファミリーの良い部分が100%出ており、インタビュー番組としては素晴らしいと感じました。慈善事業のプロデュースや、選曲など、不思議に思っていたことなど、専門家から見た疑問や視点も全て聞き手が聞いてくれ、とても興味深く、結構深いところまで入って行って、EU やドイツのことだったり、イタリアのことだったり。意外と令奈さんが強調されていたのが実はイタリアはあんまり支援してくれていないのだということ。ここはもう少し突っ込んでも良かったという気はします。例えばコロナ渦に、市や府はどう動いているのか、助成金だけでなく。そういう視点が自然な流れかと思いますが、そこが無かったのがもったいない。例えば市のホールにはなぜ配信システムがないのかとか、府にはなぜそういった施設がないのかなど。そういう点がもう少し、美談に終わらせるだけではなくて、アーティストが今苦境に立たされているということがもう少しあっても良かったと感じます。そのあたりのことをどうやって局がリサーチしていくかが課題。

委員D：イタリアとZoom を繋ぐと聞いて、凄いな企画を考えたなと思いました。番組は、聞き手のお家に招かれて聴いているような感覚になりました。聞いたかったことも聞いてくれるし、胸が熱くなるような内容でした。

委員長：ベテランのパーソナリティが、じっくり長い間活躍しているのは、いいことだと感じます。半面、新しいかたも頑張ってもらえたらと。

事務局：本日欠席の委員のご意見です。「語り口はとてもソフトで、昭和世代には話題的にも合います。番組の途中のメッセージが印象的でした。テレビでも印象が残る中、箕面出身ということでタイムリーに取り扱ったのも良かったで

す。電話インタビューと顔を見ながらの Zoom インタビューの違いがよく分かり、よりリアルに感じました。楽器のイメージからすると寡黙な演奏家という感じがしましたが、番組の中では結構お喋りで大阪のお姉ちゃんという感じで親しみを感じました。亜美さんの主張もかなり激しいトーク炸裂でおもしろい感じ。例の演奏に関する裏話が聴けたのは良かったです。通常時でも、日本各地または外国で活躍されている箕面出身者のインタビューなど、番組内で紹介するのもおもしろいと思います。」

スタジオにゲストをお迎えできないというコロナ禍のなかで、私たちもこの番組をきっかけに、Zoom や FaceTime などを使ってご出演いただく機会を作りました。手探りの中で色々勉強になりました。

委員長：今回のような形でオンラインでも色々なかたに出演していただけたらいい。特に箕面は著名なかたがたくさんいらっしゃいますから。

委員C：さまざまな分野でのコロナの影響とか、例えばファッション業界ではどういった問題が起きているのか、どういった支え合いができるのか、など。

委員A：市民活動の分野や演劇関係なども、コロナへの解決策をみんなで探る、そういう情報などを発信していくことができればヒントになるかもしれない。

委員C：前例がないことを、みんなで考えていこうみたいな番組が生まれれば良いと思います。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和2年7月28日

箕面FMまちそだて株式会社 番組審議会